

#Şer_û_Aştî

※クルド語で「戦争と平和」の意

主催：TOSMOS（東京大学現代社会研究会）

協力：日本クルド学生連盟



新歓講演会＆討論会

クルド人が語る

[f イベントページはこちら](#)

「戦争と平和」



アラブの内戦とトルコの侵略戦争....

なぜクルドのみが平和への道を歩むのか？

Hendek teröründen sonra

日本語、クルド語、英語、アラビア語、トルコ語で中東和平を徹底討論！

シリア・コバニ出身のクルド人*留学生が、中東における
戦争と平和への道について講演します。

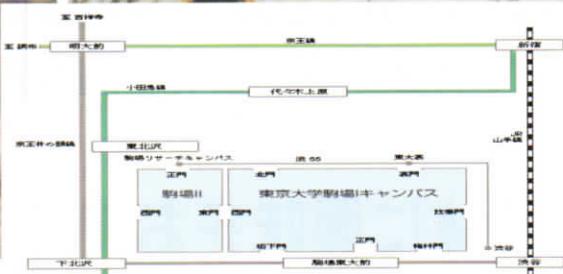
講演はクルド語（日本語通訳あり）で行われます。
その後講師と参加者の間で、質疑応答を行います。
質疑応答は日本語、英語、クルド語、アラビア語、
トルコ語で受け付けます。

*トルコ、イラン、イラク、シリアにまたがって住む世界最大
の少数民族。イラク、シリアでは自治を獲得している。

日時：4月6日（金）19:00~20:30

終了後は懇親会あり、新入生無料

場所：東京大学駒場キャンパス





クルド人とは？



主にトルコ、イラク、イラン、シリアにまたがって居住する、人口2500～4000万人の世界最大の少数民族。イラク、シリアではアラブ人統治の緩みに乗じて自治を獲得し、イスラム国掃討戦では多くの犠牲を払いつつも世界に存在感を見せつけた。

講師：マフムード・ベケス氏



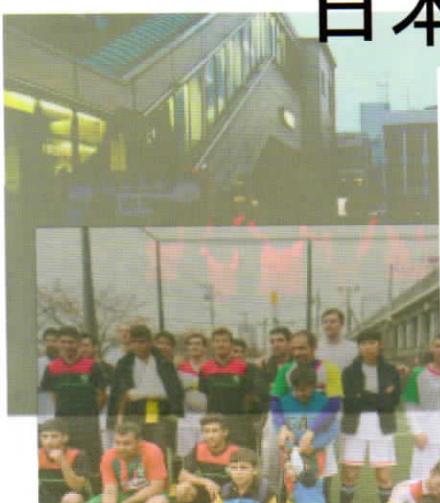
シリア・コバニ出身クルド人
日本クルド学生連盟メンバー
東京外国語大学在籍
レバノンで紛争学の学位取得
言語：クルド語(クルマンジ)
アラビア語(学術レベル)

戦争の中から平和への道を見出したクルド人

現代は「文明の衝突」とも形容される、民族、宗教紛争の時代です。世界各地が不安定化する現代、特に中東は果てしのない泥沼の戦争に落ち込んでいるように見えます。

シリア内戦により自治を獲得したクルド人が始めた「民主連邦制」は、「ロジャバ革命」と呼ばれ諸民族融和の実験として世界的な注目を集めています。内戦下のシリアにおいて平和な統治を確立したクルド人は民族紛争解決に向けた知恵を多く持っているのではないでしょうか。

日本クルド学生連盟とは？



私たちは日本に住んでいる国を持たない最大の民族と呼ばれるクルド民族との相互理解を通じて、学生という立場から民族紛争とその解決について考えていくことを目的としています。

具体的な活動としてはクルド問題勉強会をはじめ、クルド人の多くが住んでいると言われる蕨駅周辺での日本人と共同のゴミ拾いなどで、過去にはフットサル大会を通じた交流などもしました。

当団体に興味をお持ちの方はこちら→

[Twitter](#)

[LINE](#)

